事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年 2月 28日 (18:50 ~ 20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	2人	1人	12人

前回の改善計画
新規利用者の基本情報について利用日以前に回覧しサイン等を全職員からもらうようにひきつづき努力します。職員会議や申し送りでの情報共有を改めて徹底します。声かけ等も行い、全職員がサインするようさらに徹底していきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
基本情報や利用に至る経過、家族や家庭の状況等利用前に書面での確認と引継ぎでも確認を行いました。情報提供、共有はできていますが、回覧のサインができていない時もありました。また、全職員に伝えきれていない情報もありました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	2	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	5	1	1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	7		1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	3	3	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・フェイスシートを作成し情報共有に努めました。サービスの利用が初めての利用者には訪問サービスから関係を築くようにしたり、不安にならないような声掛けをする等しました。家族の就労状況等に合わせてサービスを調整したり、送迎時間を調整したりしました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・書類の整理が不十分でファイルが他の書類と混ざることもありました。利用開始前のミーティングは十分にできておらず、一部の職員のみでの共有になってしまった部分もありました。口頭での伝達もしていましたが不十分な時もありました。書類についてはサインのできていない時もありました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
基本情報のファイルは他の書類とまぎれないよう置く棚を決めます。引き続き、申し送りやミーティングで情報を共有できるように努めます。サインが出来ていない職員には声掛け、確認をします。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年 2月 28日(18:50～ 20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	9人	人	人	12人

前回の改善計画
当面の「～したい」短期目標と長期目標を共有できるように利用者全員を一覧表にします。ひきつづき全職員で共有するようにします。担当職員を決め実践していきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
「～したい」を共有できるように職員会議で使用する書式も見直しました。担当者を中心にその方の状況把握に努め実践してきました。短期目標、長期目標の共有は不十分な所がありました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	9	2		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	9	1		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	6	3		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	6		1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月の職員会議で個人の課題を把握し、全体で共有し日々の業務内でも利用者働きかけをしています。担当の利用者だけでなく利用者の気持ちを受け止めて実践をしています

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
勤務形態のより利用者の過ごし方の理解が不十分な場合もありました。本人や家族の思いをヒヤリングしていても職員間で共有できていなかった時もあり、どのようにすれば職員共通の認識にできるのか検討が必要

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
短期目標・長期目標が共有しやすいように専用のファイルにて書類を管理します。ケアプラン変更時には、職員に周知します。引き続き担当職員を中心に全職員で実践していきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年 2月 28日 (18:50 ~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	1人	1人	12人

前回の改善計画	ひきつづき「以前の暮らし方」10個以上をまず職員で出し合い、確認しあいます。その都度、情報を追加し、全職員で共有できるように一覧表にし、拡充していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の以前の暮らし方は十分に把握できていませんでした。情報を個々で把握できていても職員共有のものにできていませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	6	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	3		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	8			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の体調の変化、精神面の変化を記録に残し、状況に応じて支援しました。排泄のタイミングや入浴の好み、コミュニケーションの方法等その方に合わせた対応を心掛けました。交代で勤務する職種は引継ぎノートを活用し情報交換を行いました。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・訪問サービスを中心に利用している場合、関わる時間が限られており以前の暮らし方の情報が少なくなっている。自宅での生活の様子が家族から十分聞き取れていない時もあり、通いサービス中にどのようにケアを提供すればいいのか困ることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「以前の暮らし方」の情報を追加し、共有できるように努めます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年 2月 28日 (18:50 ~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	人	4人	人	11人

前回の改善計画
ひきつづき、すべての職員が利用者の家庭環境をせめて一度は実際に見るように勤務の中に位置づけるなど努力します。

前回の改善計画に対する取組み結果
勤務のなかで位置づけるように努力してきましたが、すべての職員が利用者の家庭環境を見ることはできていません。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4	5		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	3	5		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	4	4		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	5	4	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・訪問サービスに行くことが少ない職員でも他職員からの情報提供により自宅環境をイメージしたりすることに努めました。
・外出行事の際には、近隣へ出かける等地域資源の活用を行いました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族との情報共有では、同居されていない場合は難しい場合もありました。事業所が直接関わっていない時間にどのように過ごしているかの把握は不十分な時もありました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
引き続き、家庭環境を知ることが出来るよう勤務の中に位置づけるなど努力します。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年 2月 28日 (18:50 ~ 20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	2人	人	12人

前回の改善計画	引き続き、地域資源および家族以外の人々の支援状況と内容を全職員で共有してまいります。記録を充実させてまいります。
前回の改善計画に対する取組み結果	・他のサービス機関や医療機関とも連携をとり援助していることを職員会議や日々の申し送りでも報告し共有しています。記録については、本人の状況の変化も記録できるように取り組みました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	4	2		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	3	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	5	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	4	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に合わせて必要なサービスが提供されるよう、近隣の他の事業所とも連携できています。 ・日々の変化や課題を共有し希望に添えるように対応するように努めました 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊サービスの希望者が重なった時は定員の関係もあり急な要望に応えることが難しいときもありました。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、家族以外の支援状況についてミーティング等で共有します。記録について、日々の変化や状態が共有できるよう充実させてまいります。家族への情報提供方法について再度検討します。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024 年 2 月 28 日 (18:50~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	5 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	引き続き、あかりの家通信を毎月発行し、地域活動への参加状況を全職員や地域包括支援センター等に知らせていくようにします。
前回の改善計画に対する取組み結果	・あかりの家通信は毎月発行し、日々の様子や行事等が伝わる様に内容も工夫しました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	5	2	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	4	2	2	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	4	3	1	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	6	3	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・あかりの家通信は毎月発行するだけでなく、事業所へ掲示し利用者自身にも見てもらうことが出来るように努めました。また、法人内の他の事業所にも掲示しています。 ・地域の防災避難訓練に参加を行いました。 ・近隣の方にボランティアとして来訪して頂いたりしました。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・感染症の状況などから外部への外出は近隣の公園等しか行けませんでした。地域の活動等への参加や交流はほとんど行えませんでした。他のサービス機関とはその都度必要な連絡は取れていますが、会議の開催には至りませんでした。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
あかりの家通信を毎月発行します。地域活動への参加は引き続き行い、参加状況は職員間で共有します。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024 年 2 月 28 日 (18:50 ~20:00)

7. 運営

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	5 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画
引き続き、あかりの家通信を毎月発行します。月 1 回の全員の職員会議とは別の会議（看護部）も必要に応じ持つようにし、情報共有や研修や事例検討も行います。

前回の改善計画に対する取組み結果
あかりの家通信は毎月発行できました。看護会議は定例化するように位置付けましたが感染症の発生等で開催できない月もありました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	3	6	2	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6	1	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	2	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	5	3	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・あかりの家通信は毎月発行しました。運営推進会議で事業所の状況を報告しています。地域の方やご家族等からの意見や苦情は他の職員へも報告、共有し運営に反映させています。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員会議への参加が困難な職員の意見は十分に反映されていない場合もある。夜勤職員の引継ぎでは、看護職員からの引継ぎはできているが介護職員からの引継ぎはできていない時もありました。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
職員会議、看護会議は引き続き行います。夜勤者への申し送りについて、記録だけでは伝わらない状況についてどのようにすれば伝わるのか検討を行います。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024 年 2 月 28 日 (18:50 ~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	5 人	1 人	人	12 人

前回の改善計画
引き続き、年間計画に基づき職員研修を推進します。防災訓練を年 2 回行います。感染症予防、事故防止の取組みを進めます。

前回の改善計画に対する取組み結果
・年間計画に基づき研修を実施しました。防災訓練も 2 回実施しました。感染症対策は実施していましたが、感染症が発生しました。事故やヒヤリハット報告書をもとに対策を検討し再発防止に努めました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	6	1		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	4	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	5	2	2	3	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	6	1		12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・防災訓練は新入職員が参加できるように体制を取りました。
・毎月の職員会議での学習会だけでなく、法人内の学術運動交流集会や外部の研修にもオンラインで参加を行いました。研修内容については伝達研修を行っています。
・事故が起きないように危険予測をした行動をとる様に心がけました
・感染症は発生しましたが、感染者を最小限にとどめるようにしました。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ひやりハットをヒヤリハットと捉えていない場合もありました。また、ヒヤリハット報告書への記載が不十分で検討しにくい場合もありました。
・外部への研修は、参加の機会が十分ではありませんでした。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
職員研修については、年間計画に基づき実施します。防災訓練は、事業継続計画の確認と共に実施します。感染症対策や事故防止の取組みも進めます

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年 2月 28日 (18:50 ~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	2人	1人	12人

前回の改善計画	引き続き、その都度、権利擁護や成年後見制度活用の利用者があれば、その都度利用状況を全職員に知らせます。申し送りの場所等を引き続き工夫します。
前回の改善計画に対する取組み結果	権利擁護や成年後見制度を活用している利用者はいませんでした。申し送りの場所は工夫をして行いました

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	2			12
②	虐待は行われていない	9	3			12
③	プライバシーが守られている	4	7	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	4		2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・成年後見制度についての制度は理解できていました。 ・虐待や身体拘束は環境を整備（玄関のチャイム・学習会の開催）する等の対応を行っています。 ・申し送りの場所は、見守りをしながらもプライバシーを保護できるようにしました。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の過ごす空間で業務を行う為個人の記録やファイルが目の届く距離に置いたままになってしまうことがありました ・施設が狭く、声の大きさがプライバシーへの配慮が欠けてしまうときがありました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
申し送りの時は、場所や声の大きさ等プライバシーに配慮した環境で行います。個人の記録等はテーブルの上に置いたままにせずその都度片付けます。 権利擁護や成年後見制度活用の利用者があれば、利用状況を共有します。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秋篠茜会	代表者	藤井 俊哉	法人・事業所の 特徴	認知症や要介護の利用者様がその人らしく在宅生活を過ごされる為に支援しています。職員との関係作りを大切に、なじみの関係ができるようにコミュニケーションと寄り添うケアを大切にして過ごして頂くように支援しています。ご家族の思いにも寄り添い、介護負担の軽減に配慮し、通い、訪問、泊りのサービスで柔軟に対応しています。個別性を大切に施設での居場所作りや居心地の良さを感じて頂き、認知症の方の周辺症状は大きく改善しておられる方が多いです。作業や外出、菜園作り、行事等生活を豊かにする取り組みや音楽療法、レクリエーション、生活リハビリにも力を入れています。通いでは、看護体制を整え、健康チェックや医療的なケアも可能な範囲で対応しています。
事業所名	小規模多機能ホーム あかりの家	管理者	中井 友紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	人	人	1人	1人	人	2人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続きあかり通信や回覧等で全職員が情報共有できるように取り組みます	あかりの家通信の毎月の発行されています。利用者情報の共有はされていました	レクリエーションの写真等日頃の様子とは違った姿も知ることが出来ています。引き続き努力しています。	引き続き、あかりの家通信の発行を行い、全職員で情報共有できるように取り組みます。日々の変化や状態が共有できるよう記録も充実させます
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き家庭的で居心地のいい空間となりように努めていきたいと思えます。壁面の作業、寄せ植えも引き続き工夫して取り組みます	季節に合わせたしつらえになるように努力されています	季節に合わせた室内環境になっています。	引き続き季節に合わせた作品作りに取り組みます。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍での困難もありますが、地域の行事や保育園、幼稚園、小学校、障害者施設との交流に模索し取り組んでいきます	コロナ禍の為地域の行事や保育所との交流は難しかったです。近隣の公園等に行くことは行えています。	コロナの状況はありますが地域との交流は引き続き参加を模索して欲しいです	地域行事への参加や保育園等との交流に取り組みます
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	引き続き地域に出向く取り組みを進め、地域での暮らしや介護相談の窓口であり支えてとてさらに努力します	地域の暮らしや介護の相談窓口として努力されています。	コロナ禍の影響もあり、利用者は参加しにくい状況でした	引き続き地域に出向く取り組みを進めます。介護の相談窓口となる様に努力します

E. 運営推進会議を活かした取り組み	引き続き運営推進会議を活かして事業所の改善や地域への取り組みを進めます。地域の行事や取り組みへの協力やコロナ禍の状況も考慮しながら認知症カフェの開催にも努力していきます	運営推進会議の外部評価や会議を活かして事業所の改善に取り組まれています	外部評価に取り組んでいますが、職員の接遇面等で気になる所もありました。地域の情報や事業所の状況を確認し改善事項の実現に努力されています	運営推進会議を活かして事業所の改善に引き続き取り組みます。地域への行事にも参加を検討します。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加するなど地域とともに防災・災害対策に取り組まれています。事業所の防災訓練に運営推進会議の方や地区の防災班にも案内していきます。災害時の備蓄を行います。	地域の防災訓練に参加しています。地域とともに防災・災害対策に取り組まれています。	事業所の防災計画についてはわからない部分もあります。	引き続き地域の防災訓練に参加する等地域とともに防災・災害対策に取り組みます。事業所の防災訓練を行う際は運営推進委員にも案内を行います。災害時の備蓄も行います。